

チャペル週報

No.17

2013.10.7～10.11

ヤコブよ、あなたを創造された主は
イスラエルよ、あなたを造られた主は
今、こう言われる。
恐れるな、わたしはあなたを贖う。
あなたはわたしのもの。
わたしはあなたの名を呼ぶ。

(イザヤ書43:1)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月7日(月) 神 東 よしみ (神学部助教)
経 基礎演習別「大学での学び」① 利 光 強 (経済学部長)
人 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
聖和 聖書物語「いのちをあたえられた人、いやされた人」
-
- 10月8日(火) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 <臨床教会実習報告> 土 門 稔 (神学研究科M1)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 「共生するキャンパスを目指して」 徳田 真二 (総合支援センター課長)、吹奏楽部有志
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 基礎演習別「大学での学び」② 利 光 強 (経済学部長)
商 安 田 聡 子 (商学部准教授)
国 音楽チャペル ゴスペルクワイア P.O.V
聖和 山 本 伸 也 (教育学部教授)
総 山 根 周 (総合政策学部准教授)
-
- 10月9日(水) 神 浅 野 淳 博 (神学部教授)
社 秋の音楽チャペル① 聖歌隊
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 基礎演習別「大学での学び」③ 利 光 強 (経済学部長)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 山 本 雅 代 (国際学部教授)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 10月10日(木) 神 <キリスト教音楽に触れよう④> 水 野 隆 一 (神学部教授)
文 上ヶ原ハビタットによるチャペル
社 動詞シリーズ「悩む」⑤ 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 基礎演習別「大学での学び」④ 利 光 強 (経済学部長)
商 太 田 直 宏 (YMCAせとうち、総主事)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 「手話とのであい」手話部たんぼぼ
総 客 野 尚 志 (総合政策学部准教授)
-
- 10月11日(金) 神 「震災を覚えて」礼拝⑭ 神学部メガホンプロジェクト
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 基礎演習別「大学での学び」⑤ 利 光 強 (経済学部長)
人 人間について考える⑪ 藤 井 美 和 (人間福祉学部教授)
聖和 「保育園実習を終えて」平 田 真 帆 (保2) 安 福 彩 希 (保2)
理 前 川 裕 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
10月11日(金) 文学部のために 松 見 淳 子 (文学部長)

我々の内に光はない

古 田 晴 彦

キリスト教学校の卒業アルバムなどで、「地の塩、世の光になりなさい」というようなメッセージに時々出会います。「頑張って、そのようになりなさい」という努力目標です。聖書を読むと、イエス様は「あなたがたは地の塩である、世の光である」と断言しておられます。(マタイ 5:13-14) 努力目標としてこれを言われたのではありません。自分自身の在り方を見れば、とてもそのような者ではありません。にもかかわらずイエス様は、宣言しておられます。弱さ・失敗・過ちに満ちた私たちですが、イエス様はそのような私たちに期待し、送り出すことをやめません。

かなり前ですが、全国の私立学校のスクールマーク(校章)の意味を調べたことがあります。努力目標を掲げたものは多数ありました。「明日はもっとよくなる」「一日一善」のようなものです。皆さんは、関西学院の新月徽に二つの意味があるのを御存知ですか？ 一つ目は「成長」です。新月が満月に向かうように、今は欠けの多い不完全な私たちであるが、円満な人格の完成を目指して歩みたいという願いです。これには努力目標に通じるものもあると思います。二つ目は「反射」です。人間は傲慢で自己中心的存在である。たとえ神様の御用をしているときでも、「自分が」「自分が」という思いに支配される。「我々の内に光はない」。これは、人間の罪性の自覚です。月は自ら光を発することができない。太陽からの光を反射することで暗い夜を明るく照らしている。我々も、神からの光(恵み)を反射することによって、暗い世の中に光を照らす存在になりたいという祈りです。

これは努力目標ではありません。祈りです。新月徽は私たちが人間というものをどのような存在としてとらえるのか、人間理解にまで踏み込んだ意味を有しています。このようなスクールマークを持つ学校はほとんどありません。価値のない者を、神が用いられる。その価値のない者を生かすために、イエス・キリストは十字架にかかられた。関西学院で学ぶ皆さんが、心のどこかでこのことを覚えておいてもらえれば嬉しく思います。

「主なる神は、土の塵ちりで人を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」(創世記 2:7)

(高等部教諭)

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕の祈りのひととき。秋学期は以下の3回行ないます。どなたでもご参加ください。

第1回 10月10日(木) 18:30～20:00

第2回 11月7日(木) 18:30～20:00

第3回 1月9日(木) 18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

10月11日(金)、18日(金)、25日(金)

18:00～18:20 1405教室

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月22日(火) 10:35～11:05

11月19日(火) 10:35～11:05

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて

●第194回ランバス演奏会のご案内

リコーダー・アンサンブル「レアル」コンサート

と き：10月24日(木) 17:30開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

「レアル」は本学応援団総部吹奏楽部の卒業生が中心となって1997年に結成されたアンサンブルです。リコーダーだけでなくチェンバロ、パンフルートなど多彩な編成で様々な時代、ジャンルの音楽に取り組んでいます。

●リトリート at 千刈 ～テゼ共同体のブラザーを迎えて～

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き：11月30日(土)～12月1日(日)

ところ：関西学院千刈キャンパス

主 催：関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ：宗教センター(吉岡記念館事務室)

※申込みは神戸三田・聖和各キャンパスでも可

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手を収集しています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。